

## 【アンケート結果】

- 配布方法 第3回会議に参加した41名に配布
- 回答 31名 (回答率75.6%)
- 回答内容

### ①講演会の内容について

- ・良かった - 23名 (講演会参加者23名中)

### ②認知症についての勉強会について

- ・良かった - 30名

### ③認知症になっても安心して暮らすために、地域で何が必要だと思いますか。 (複数回答可)

- ・地域の支援隊体制 29名
- ・福祉サービス 26名
- ・医療との連携 22名
- ・相談窓口 19名
- ・施設 12名
- ・その他 2名 (ボランティア・見守り、住民の認知症に対する理解)

### ④今回、この事業に参加する前と比べて「認知症」についての考え方が変わりましたか？

- ・変わった 19名
- ・変わらない 6名
- ・どちらとも言えない 6名

### ⑤「変わった」と回答した方の具体的意見

- ・家族に対する思いやり
- ・協力できることがあればやってみようと思った
- ・身近な問題として考えるようになった
- ・人助けは自分の身を助けるために必要
- ・自分の周りの事(人・地域)に関心を持つようになった
- ・「認知症」という言葉にばかり目がいきがちだが、改めて人として見る視点の大切さを再認識できた
- ・認知症について勉強することで、自分が前向きになり、何か協力できるのではないかと考えた (同意見複数)
- ・新聞で認知症に関する記事を読むようになった (同意見複数)
- ・助けてあげるのではなく、その人らしさを尊重し、自分も学ぶこと
- ・支援者の価値観を押しついたり物事を考えたりしない、ご本人の価値観を大切にすること

### ⑥今後、このような事業を続けていく場合は、協力してもらえますか

- ・はい 27名
- ・いいえ 3名
- ・わからない 1名